

# 令和4年度大阪歯科大学同窓会愛媛県支部総会

令和4年5月7日（土）午後4時より松山市道後の大和屋本店に於いて、令和4年度大阪歯科大学同窓会愛媛県支部の総会が開催されました。

コロナ感染症拡大の影響で3年ぶりの開催です。

総会に先立ち、『がん治療における歯科の役割』という演題で、国立病院機構四国がんセンター医長古川康平先生にがん医科歯科連携の中でがん患者を支える治療として「質の高い支持療法」を行うことで予後も延長するとされており、「口腔／歯科支持療法」の大切さについて講演して頂きました。

歯科との関わりについては2012年の周術期口腔機能管理料の保険収載以降、がん治療における支持療としての歯科の役割も増加しており、単に口腔衛生状態を改善するだけにとどまらず、手術や抗がん剤によって口腔内に生じる副作用や口腔内が原因で生じる合併症をがん治療についての専門的な知識と歯科医師としての口腔内についての知識から今後起こりうることを予測し、適切な対応を行うことが歯科支持療法の目的であり、それにより患者さんが快適に治療を受けることが可能になることを分かりやすく話して頂きました。

講演会終了後、佐々木勝英先生（大28）の司会により総会が開催されました。

大阪歯科大学同窓会愛媛県支部会長橋本成人先生（大22）の挨拶があり、同窓会本部より生駒等会長（大16）と恩田信雄専務理事（大21）、大阪歯科大学歯科麻酔学主任教授百田義に出席していただき、生駒会長からは、コロナ感染症蔓延により延期されている今年夏に開催予定の同窓会100周年記念式典の並々ならぬ意欲と情熱話され、同窓としての団結を再確認させていただき、百田教授からは学内報告が行われました。

その後、今年お亡くなりになった徳永妙子先生（専32）に黙祷が捧げられ、その後受賞者の紹介があり、令和3年に新谷光夫先生（大19）、石野憲二先生（大19）がそれぞれ文部科学大臣賞、中国、四国地区歯科医師会連合会会長表彰、令和4年に坂田秀敏先生が愛媛県学校保健会会長表彰、全歯連会長表彰を受賞され、大阪歯科大学同窓会愛媛県支部会長橋本成人先生（大22）より記念品の贈呈が行われました。

そのあと新入会員として、日野巨樹先生（大42）、古川康平先生（大56）松田旭弘先生（大66）が紹介されました。

その後、野村裕信先生（大29）の議長のもと令和3年度決算案、令和4年度予算案、役員改選などの議案がスムーズに進行し総会は終了しました。

記念写真撮影後、久しぶりの懇親会へと進みました。

野村幸治郎先生（大32）司会により、橋本会長の挨拶のあと来賓挨拶として生駒等先生、百田義弘先生愛媛県歯科医師会専務理事西岡信治先生より祝辞を頂きました。

そのほかに来賓として、恩田信雄先生、明海大学歯学部同窓会愛媛県支部会長村上始先生、朝日大学歯学部同窓会愛媛県支部会長井出勇次先生、愛媛県歯科医師会事務局参与本山英幸様、玉井歯科商店代表取締役社長玉井誠一様をお迎えしました。

そしていよいよ懇親会では無くてはならない大阪歯科大学同窓会愛媛県支部副会長浅野一郎先生（大28）の乾杯の音頭とともに懇親会の始まりです。

コロナ渦で多少の制約があるものの、同窓と一緒に酒を酌み交わし食事をするのは本当に久しぶりということもあって、楽しい時間を過ごすことができました。

まだまだ宴もたけなわではありましたが時間となり、大阪歯科大学同窓会愛媛県支部副会長浅井仁先生（大27）の閉会の言葉によりお開きとなりました。

残念ながら今回は二次会もなく少し物足りなさもありましたが、楽しみは夏の大阪での同窓会100周年記念式典に取っておきましょう。

それまでみなさまくれぐれもご自愛ください。